

暮らしやすさが誇れるまちづくり

【拡充】 竜野駅周辺整備事業 131,719千円

南の玄関口として、引き続きJR山陽本線竜野駅周辺整備を行います。

Q 令和4年度予算で自由通路や道路など、どのくらいまで整備が進む予定なのか。

A 令和4年度に自由通路と駅施設、附随するコミュニティセンター、エレベーターの実施設計を行う。その後、令和5年度及び6年度に工事を実施し、3か年で駅舎周辺を整備する予定である。また、駅南の道路については、令和3年度で用地買収が済んだことから、今ある住宅の撤去が完了すれば、令和4年度及び5年度に工事を実施し開通する予定である。



竜野駅周辺整備事業

【拡充】 町並み環境整備事業 60,000千円

下川原地区の市営駐車場に公衆便所等を整備します。



整備が進む下川原地区の市営駐車場

【拡充】 龍野公園・動物園事業

101,402千円

市民の憩いの場である龍野動物園について、動物福祉に配慮したうえ、バリアフリー化、障害のある子どもない子と一緒に遊ぶことができるインクルーシブ機能を備えたすべての利用者にやさしい公園を整備します。

新たな時代に順応した自治体DX

【新規】 市民の利便性を図るデジタル化事業 53,252千円

Q デジタル化の推進に当たり、指針はあるのか。

A その一つが施政方針に掲げる、「行かなくてもよい市役所」であり、オンライン申請とスマホ決済等により、市役所に行かなくても手続きができるよう進めていく。



主な投資的事業

【拡充】 北学校給食センター整備事業

1,351,187千円

北学校給食センターを整備し、全ての小・中学校に安全・安心な学校給食を提供します。(令和5年4月供用開始)



北学校給食センター完成予想図

【新規】 庁内の事務の効率化を図るデジタル化事業 35,778千円

◎預貯金等取引照会システム導入【一般会計】

Q どのようなシステムを導入するのか。

A 預貯金等の調査を金融機関と電子データでやり取りするサービスであり、調査件数が非常に多く、導入することで、約3日で調査結果が分かるため、早いタイミングで預貯金を差し押さえる処分の手続きができる。

◎管路診断事業【水道事業会計】

Q 水道管路管理システム及び水道施設管理システムについて、水道管路診断のためのソフトウェアとなるのか。

A 管路のAI診断システムについては、別途予算計上しており、本システムは管路及び浄水場・排水池の施設の台帳を電子データ化するものである。